

我が家のブロック塀は大丈夫？



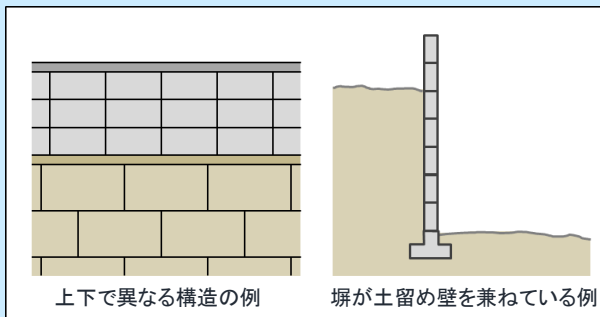
埼玉県のマスコット
「さいたまもち」

平成30年6月18日の大阪府北部を震源とする地震では塀の倒壊により、尊い命が奪われました。

塀の安全性の確保は所有者の責任です。地震はいつ起こるかわかりません。取り返しのつかない事態を未然に防ぐために、塀の自己点検を行いましょう！

なお、右のような場合は、精密な検討や安全対策が必要です。

この自己点検票では点検できませんので、専門家に直接ご相談ください。



上下で異なる構造の例

塀が土留め壁を兼ねている例



埼玉県のマスコット
「コバトン」

自己点検スタート！

ステップ1 点検する塀はどちらですか？

ブロック塀
(補強コンクリートブロック造)



写真出典：(一財)消防防災科学センター

組積造
(石積みやレンガ積みの塀など)

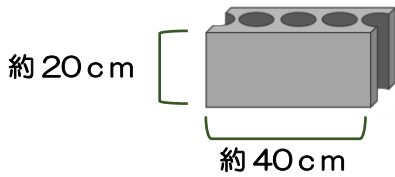


写真出典：(一財)消防防災科学センター

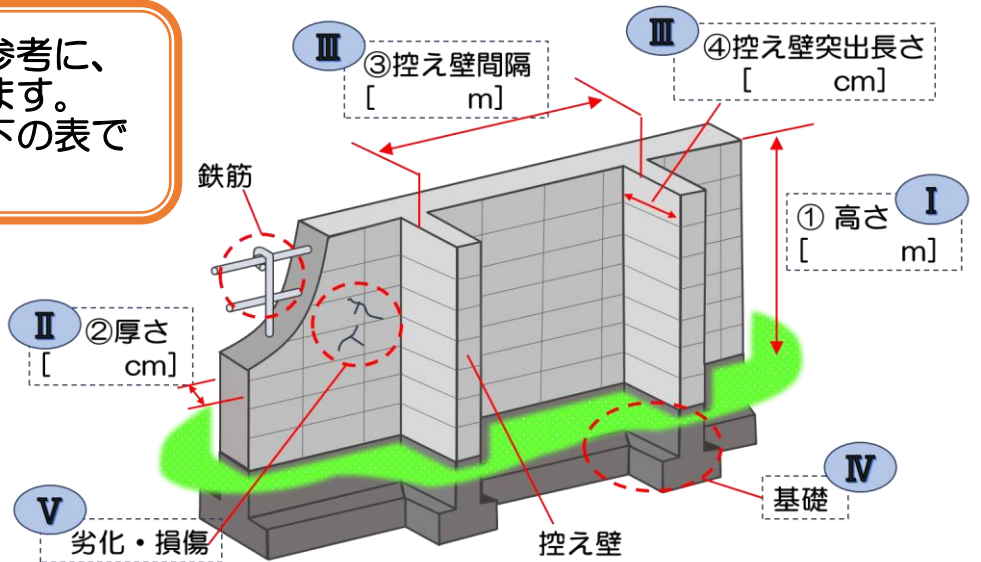
裏面 **A** 列へ

裏面 **B** 列へ

ステップ2 右の図を参考に、
①～④の寸法を測定します。
測定した寸法と外観を下の表で
点検します。



【参考】ブロック塀の一般的な寸法
目安：6段積みで高さ1.2m
8列で長さ3.2m



A ブロック塀の場合 ↓こちらの列をチェック↓

B 組積造の塀の場合 ↓こちらの列をチェック↓

I. 塀の高さ	地面から 2.2m 以下である	<input type="checkbox"/>	地面から 1.2m 以下である	<input type="checkbox"/>
II. 塀の厚さ	厚さ 10cm 以上（塀の高さが 2m を超える場合は 15cm 以上）である	<input type="checkbox"/>	②厚さが次の値☆以上ある 計算：①高さ(m)×10=(☆ cm)	<input type="checkbox"/>
III	III-1. 控え壁不要 塀の高さが 1.2m 以下である	<input type="checkbox"/>	②厚さが次の値☆以上ある 計算：①高さ(m)×15=(☆ cm)	<input type="checkbox"/>
	↑どちらかの ↓条件を満たす III-2. 控え壁必要		<ul style="list-style-type: none"> ③控え壁間隔が 3.4m 以下である ④控え壁突出長さが次の値☆以上 計算：①高さ(m)×20=(☆ cm) 	
IV. 基礎	コンクリートの基礎がある	<input type="checkbox"/>	基礎がある	<input type="checkbox"/>
V. 劣化・損傷	傾いたり、一部ひび割れていない	<input type="checkbox"/>	傾いたり、一部ひび割れていない	<input type="checkbox"/>

点検結果

- すべての項目がである → 今後も劣化・損傷の観察を行いましょう。なお鉄筋等の精密な診断を行いたい場合は専門家に相談しまししょう。
- ひとつでもとならない → **専門家に相談しまししょう！**危険性が確認された場合は、付近通行者へ速やかな注意表示のうえ、補修・撤去等を行いましょう。

まずはブロック塀を造った施工業者に確認してもらうことが第一です。

それでも不明な場合は専門家、又は所管の埼玉県建築安全センター・お住まいの市町村にご相談ください。

また、市町村によってはブロック塀を生垣とする補助制度があります。（飯能市には補助制度はありません）

塀に関する専門的なご相談はこちらへ（専門家）

- ・(公社) 日本エクステリア建設業協会 TEL:03-3865-5671
- ・(一社) 埼玉県建築士事務所協会 TEL:048-864-9313
- ・(一社) 埼玉建築士会 TEL:048-861-8221

埼玉県川越建築安全センター

TEL: 049-243-2102

飯能市建築課建築指導担当

TEL: 042-973-2170 (直通)